

保安林内立木伐採届出書(伐採終了後に提出)の記載例

様式告示 18 規則第 65 条第 1 項の届出書の様式 (伐採終了届)

保安林内立木伐採届出書

令和 〇年 〇月 〇日

愛知県知事 殿

住所 名古屋市中区丸の内〇〇-〇〇
届出人 氏名 〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

令和〇年〇月〇日 〇〇〇第〇〇〇-〇号の決定通知に係る立木の伐採は、令和〇年〇月〇日に次のとおり終了したので、森林法第 34 条第 8 項の規定により届け出ます。

保安林の指定の目的					土砂の流出の防備、公衆の保健 ※ 1			
森林の所在場所					伐採の方法	伐採した立木の樹種及び年齢	伐採した面積及び立木材積	備考
市郡	町村	大字	字	地番				
〇〇市	〇〇町	〇〇	〇〇	〇-〇	択伐	スギ 50~80 年生 ヒノキ 60 年生	ha(m ³) 〇.〇〇〇〇ha (〇〇〇m ³)	植栽予定 R〇年3月

<記載上の注意事項>

※ 1 保安林の指定の目的欄は伐採許可申請書に記載した保安林種を記載してください。

注意事項

- 伐採の方法欄には、皆伐、択伐の別を記載すること。
- 伐採した立木の樹種及び年齢欄には、樹種別に行を分けて記載し、立木の年齢は、伐採した立木のうち最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「〇~〇」のように記載すること。
- 伐採した面積及び伐採した立木材積欄には、皆伐による場合にあつては伐採立木材積の記載を要しない。
- 伐採した面積は、実測又は見込みとし、小数第 4 位まで記載すること。
- 備考欄には、次の事項を記載すること。
 - 皆伐による伐採をした場合にあつては、植栽によらなければ的確な更新が困難と認められる伐採跡地の面積
 - 伐採跡地について行う植栽の時期
- 記載内容が許可決定通知書に記載した内容と同一の場合にあつては、「(許可決定通知書のとおり)」と記載することができる。